

公立大学法人
岡山県立大学概要2019

— 目 次 —

CONTENTS

基本理念・ポリシー	1
沿革	2
歴代学長	2
組織	3
法人組織図	
運営組織図	
大学組織図	
法人組織における役員等	6
役員	
経営審議会	
教育研究審議会	
理事長選考会議	
大学組織における部局長等	7
組織概要	8
教員組織	
事務組織	
中期目標・中期計画・年度計画	8
教育活動上の目的	9
学部・学科	
保健福祉学部	
情報工学部	
デザイン学部	
大学院研究科・専攻	
保健福祉学研究科	
情報系工学研究科	
デザイン学研究科	
学部状況	12
構成・学生数	
入学状況	
学生の異動状況	
卒業者数累計	
就職内定状況	
研究生・科目等履修生等	
大学院状況	17
構成・学生数	
入学状況	
学生の異動状況	
修士及び博士の学位授与数	
就職内定状況	
研究生・科目等履修生等	
国家資格等取得状況	23
奨学生数	23
附属図書館	24
厚生施設	25
学生会館	
スポーツ施設	
学生相談施設	
学内共同教育研究施設	26
共通教育部	
教育研究等に関するセンター	
教育開発センター	
キャリア・学生生活支援センター	
国際交流センター	
学術研究推進センター	
情報等に関するセンター	
総合情報推進センター	
広報メディア開発センター	
地域共同研究機構	
産学官連携推進センター	
地域連携推進センター	
COC+推進室	
社会連携推進室	
外部研究資金獲得状況	28
科学研究費助成事業	
共同研究・受託研究・教育研究奨励寄附金	
教育の質向上に向けた大学教育改革の取組	
地域貢献	30
公開講座	
全学講義	
高大連携事業	
行政等との協働	
その他の地域への情報提供	
国際交流	32
定期刊行物	34
シンボルマーク	34
予算・決算状況	35
主な大学施設等	36
建物配置図	37

○基本理念・ポリシー

基本理念

岡山県立大学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として、平成5年に設立されました。教育研究の理念を「人間・社会・自然の関係性を重視する実学を創造し、地域に貢献する」ことに置き、この理念に基づく人材の育成をめざしています。

教育目的を達成する3つのポリシー

◆ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

岡山県立大学では、次の能力を身に付け、かつ卒業の要件を満たした者に学位を授与します。

- 豊かな教養と高い人間性を身に付けていること。
- グローバル並びにローカルに活躍し得る企画提案力とコミュニケーション力を身に付けていること。
- 専門性を修得し、課題を発見し解決できる能力を身に付けていること。

◆カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

岡山県立大学ディプロマ・ポリシーに掲げる人材を育成するため、次のような教育課程を編成しています。

- カリキュラムは、共通教育科目、学部教育科目及び教職教育科目に区分しています。
- 共通教育科目では、基礎的知識の体系的理解、生涯にわたる知的活動や社会生活に必要な論理的思考力・問題発見力・批判力・情報処理など汎用的技能の修得、地域連携を通じた社会人基礎力や課題解決力の修得、グローバル化の時代に役立つ語学・異文化理解によるコミュニケーション力の修得を柱として、知的自律性を培うための教養と技能を涵養する教育を全学生に実施します。
- 学部教育科目では、共通教育科目の修得で獲得した知識と技術を基盤に、所属学科・専攻等ごとに専門の学術を学び、さまざまな社会的要請に的確に対応できる専門性と実践的能力を育成します。
- 学部教育のカリキュラムは、所属する学科等のカリキュラム・ポリシーに基づいて専門性・問題解決能力の修得に向け編成しています。
- 共通教育科目及び各学部教育科目を通じて、地域課題を知り、それを解決に導くための理論と基礎及び実践的方法を修得します。
- 教職教育科目では、栄養学科に栄養教諭一種免許課程、保健福祉学科子ども学専攻に幼稚園教諭一種免許課程を設けています。

◆アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

岡山県立大学アドミッション・ポリシーの求める学生像は、次のとおりです。

- 人間・社会・自然について幅広く学び、それらの関係性を探究したい学生
- 実学を身に付け、国内・国外の幅広い分野で社会に貢献したい学生
- 新技術・知識の創出に意欲を持ち、地域と世界へ向けて情報発信したい学生

○沿革

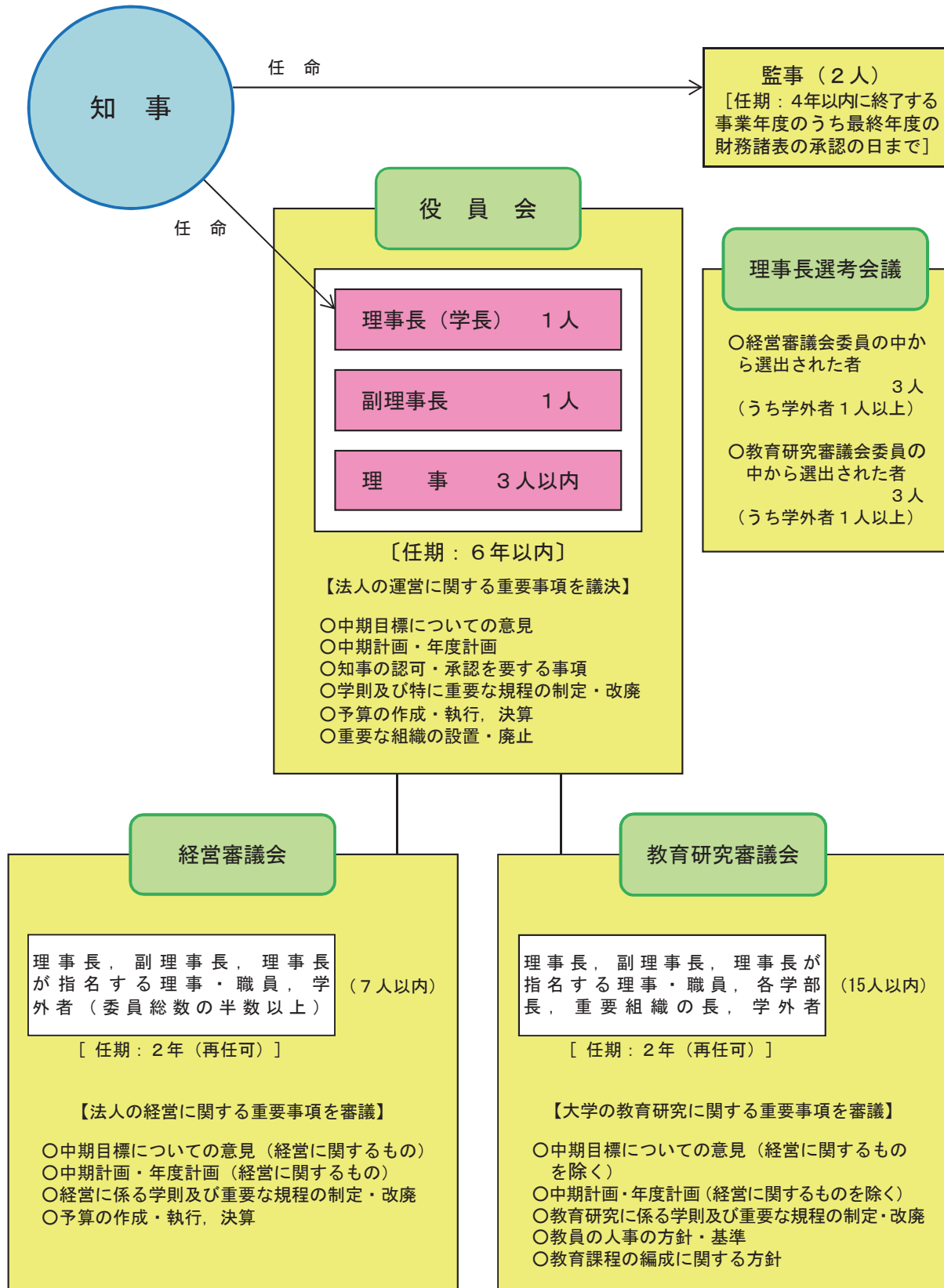
- 5(1993)年4月 開学(保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部、短期大学部)
- 9(1997)年4月 大学院 保健福祉学研究科(修士課程)、情報系工学研究科(修士課程)設置
- 10(1998)年4月 大学院 デザイン学研究科(修士課程)設置
- 11(1999)年4月 大学院 情報系工学研究科(博士後期課程)設置
- 12(2000)年6月 共同研究機構設置
- 14(2002)年4月 保健福祉支援センター 設置
メディアコミュニケーション支援センター 設置
- 15(2003)年4月 大学院保健福祉学研究科(博士後期課程)設置
- 15(2003)年6月 サテライトキャンパス 設置(平成18年7月廃止)
- 17(2005)年8月 全学教育研究機構 設置
- 17(2005)年10月 地域共同研究機構設置
共同研究機構を産学官連携推進センターに名称変更
保健福祉支援センターを保健福祉推進センターに名称変更(平成29年3月廃止)
メディアコミュニケーション支援センターをメディアコミュニケーション推進センターに名称変更(平成24年3月廃止)
- 18(2006)年4月 情報工学部 スポーツシステム工学科 設置
デザイン学部 学科再編(デザイン工学科・造形デザイン学科 設置)
- 19(2007)年3月 短期大学部閉学
- 19(2007)年4月 公立大学法人岡山県立大学 設立
保健福祉学部 保健福祉学科 改組
- 20(2008)年4月 健康・スポーツ推進センター 設置(平成27年3月廃止)
- 22(2010)年4月 大学院 情報系工学研究科人間情報システム工学専攻(博士前期課程)設置
大学院 デザイン学研究科(修士課程)再編(デザイン工学専攻、造形デザイン学専攻 設置)
- 23(2011)年4月 認定看護師教育センター 設置(平成28年3月廃止)
- 24(2012)年4月 福祉・健康まちづくり推進センター 設置(平成27年3月廃止)
- 25(2013)年4月 保健福祉学部 保健福祉学科再編(社会福祉学専攻、子ども学専攻設置)
大学院 保健福祉学研究科(博士前期課程)看護学専攻再編(保健師国家試験受験資格取得)
大学院 情報系工学研究科(博士前期課程)再編(システム工学専攻設置)
- 26(2014)年10月 大学教育開発センター 設置
国際交流センター 設置
- 27(2015)年4月 情報工学部 スポーツシステム工学科を人間情報工学科に名称変更
全学教育研究機構を共通教育部に名称変更
教育研究開発機構 設置(平成31年3月廃止)
総合情報機構 設置(平成31年3月廃止)
情報基盤活用推進センター 設置
広報メディア開発センター 設置
地域連携推進センター 設置
- 27(2015)年10月 学術研究推進センター 設置
- 28(2016)年4月 副専攻「岡山創生学」設置
COC+ 推進室 設置
- 28(2016)年12月 学生支援室(SAS)開設
- 31(2019)年4月 キャリア・学生生活支援センター 設置
大学教育開発センターを教育開発センターに名称変更
情報基盤活用推進センターを総合情報推進センターに名称変更

○歴代学長

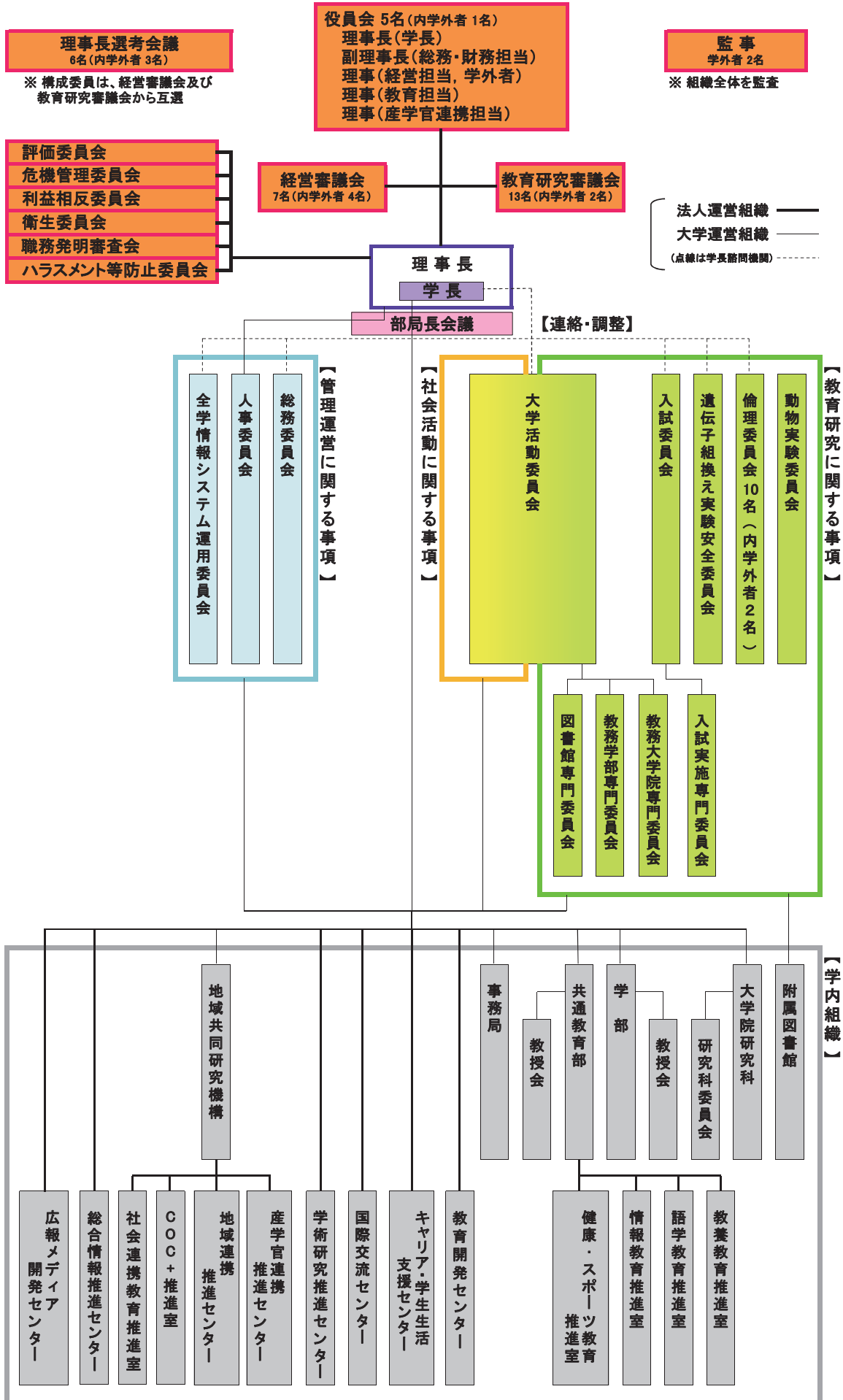
初代	小坂 淳夫	平成 5 年 4 月 1 日	～	平成 8 年 3 月 31 日
第2代	高橋 克明	平成 8 年 4 月 1 日	～	平成 12 年 3 月 31 日
第3代	本田 和男	平成 12 年 4 月 1 日	～	平成 16 年 3 月 31 日
第4代	三宮 信夫	平成 16 年 4 月 1 日	～	平成 19 年 3 月 31 日
		平成 19 年 4 月 1 日	～	平成 23 年 3 月 31 日
		平成 23 年 4 月 1 日	～	平成 25 年 3 月 31 日
第5代	辻 英明	平成 25 年 4 月 1 日	～	平成 29 年 3 月 31 日
		平成 29 年 4 月 1 日	～	平成 31 年 3 月 31 日
第6代	沖 陽子	平成 31 年 4 月 1 日	～	令和 5 年 3 月 31 日

○組 織

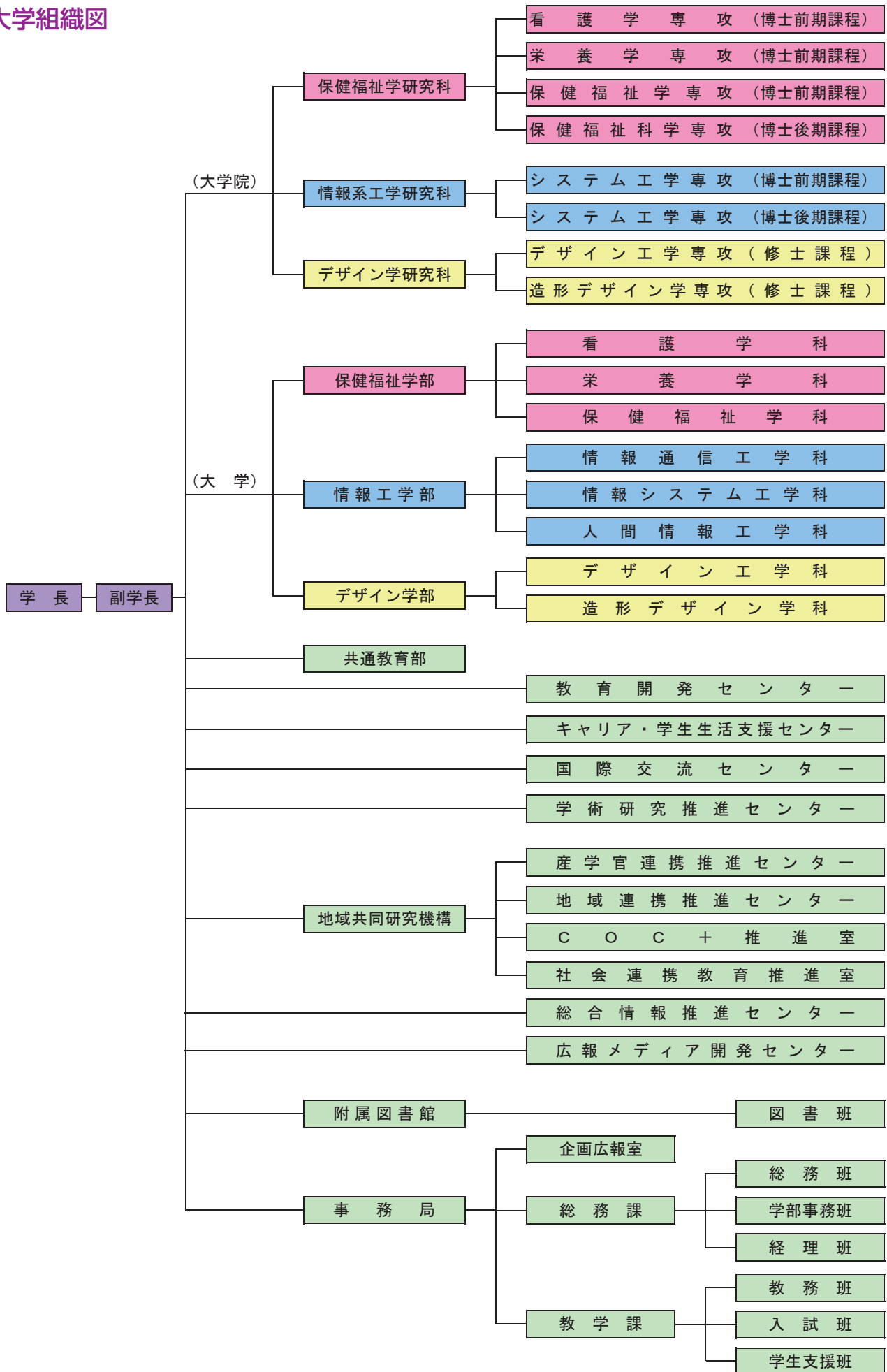
法人組織図



運営組織図



大学組織図



○法人組織における役員等

役員

(令和元年5月1日現在)

理事長	沖 陽子	岡山県立大学学長
副理事長	兼信 定夫	岡山県立大学事務局長
理事	松田 正己	(株)山陽新聞社代表取締役社長
理事	高橋 吉孝	副学長(教育担当)
理事	末岡 浩治	副学長(産学官連携担当)
監事	井上 信二	公認会計士
監事	大土 弘	弁護士

経営審議会

議長	沖 陽子	公立大学法人岡山県立大学理事長
委員	兼信 定夫	公立大学法人岡山県立大学副理事長
委員	末岡 浩治	理事(産学官連携担当)
委員	晝田 眞三	ヒルタ工業(株)代表取締役会長
委員	中島 義雄	(株)システム・カン代表取締役社長
委員	筒井 恵子	特別養護老人ホーム愛光苑理事長
委員	梶谷 俊介	岡山トヨタ自動車(株)代表取締役社長

教育研究審議会

議長	沖 陽子	公立大学法人岡山県立大学理事長
委員	兼信 定夫	公立大学法人岡山県立大学副理事長
委員	高橋 吉孝	理事(教育担当)
委員	末岡 浩治	理事(産学官連携担当)
委員	渡辺 富夫	副学長(学術研究・国際担当)
委員	伊東 秀之	岡山県立大学保健福祉学部長
委員	榊原 勝己	岡山県立大学情報工学部長
委員	嘉数 彰彦	岡山県立大学デザイン学部長
委員	樋笠 勝士	岡山県立大学共通教育部長
委員	難波 久美子	岡山県立大学附属図書館長
委員	田中 晃一	岡山県立大学保健福祉学部教授
委員	大崎 紘一	岡山商科大学副学長
委員	平野 博之	岡山理科大学副学長

理事長選考会議

(平成30年6月時点)

委員	晝田 眞三	公立大学法人岡山県立大学経営審議会委員
委員	中島 義雄	〃
委員	兼信 定夫	〃
委員	大崎 紘一	公立大学法人岡山県立大学教育研究審議会委員
委員	吉原 直彦	〃
委員	高橋 吉孝	〃

○大学組織における部局長等

(令和元年5月1日現在)

保健福祉学部長	伊東 秀之	
看護学科長	沖本 克子	
栄養学科長	山本 登志子	
保健福祉学科長	近藤 理恵	
情報工学部長	榎原 勝己	
情報通信工学科長	金川 明弘	
情報システム工学科長	菊井 玄一郎	
人間情報工学科長	穂苅 真樹	
デザイン学部長	嘉数 彰彦	
デザイン工学科長	福濱 嘉宏	
造形デザイン学科長	野宮 謙吾	
保健福祉学研究科長	伊東 秀之	
看護学専攻長	沖本 克子	
栄養学専攻長	山本 登志子	
保健福祉学専攻長	近藤 理恵	
保健福祉科学専攻長	伊東 秀之	
情報系工学研究科長	榎原 勝己	
システム工学専攻長(博士前期)	尾崎 公一	
システム工学専攻長(博士後期)	榎原 勝己	
デザイン学研究科長	嘉数 彰彦	
デザイン工学専攻長	福濱 嘉宏	
造形デザイン学専攻長	野宮 謙吾	
学 生 部 長	高橋 吉孝	(保健福祉学部 教授)
附属図書館長	難波 久美子	(デザイン学部 教授)
共通教育部長	樋笠 勝士	(デザイン学部 教授)
地域共同研究機構長	佐藤 洋一郎	(情報工学部 教授)
産学官連携推進センター長	尾崎 公一	(情報工学部 教授)
地域連携推進センター長	岩満 賢次	(保健福祉学部 准教授)
COC+推進室長	原 英二	(地域共同研究機構)
社会連携推進室	高戸 仁郎	(保健福祉学部 教授)
教育開発センター長	樋笠 勝士	(デザイン学部 教授)
キャリア・学生生活支援センター長	齋藤 誠二	(情報工学部 准教授)
国際交流センター長	阿部 淳二	(特任教授)
学術研究推進センター長	田中 晃一	(保健福祉学部 教授)
総合情報推進センター長	山内 仁	(情報工学部 准教授)
広報メディア開発センター長	中西 俊介	(デザイン学部 准教授)
事務局 長	兼信 定夫	
事務局次長(総務課長)	小西 邦彦	
教 学 課 長	駒井 俊彦	
企画広報室長	井上 知章	

○組織概要

教員組織

※副学長（兼務）を含む

（令和元年5月1日現在）

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任教授	計
■大 学							
保健福祉学部	22	26	4	15		2	69
看護学科	6	8		7		1	22
栄養学科	8	5	1	5			19
保健福祉学科	8	13	3	3		1	28
情報工学部	20	18		10			48
情報通信工学科	9	7		4			20
情報システム工学科	6	8		4			18
人間情報工学科	5	3		2			10
デザイン学部	13	17	2	5	1	1	39
デザイン工学科	4	8	1	3	1	1	18
造形デザイン学科	9	9	1	2			21
合 計	55	61	6	30	1	3	156

■大学院

保健福祉学研究科	※保健福祉学部教員が兼務
看護学専攻	
栄養学専攻	
保健福祉学専攻	
保健福祉科学専攻	
情報系工学研究科	※情報工学部教員が兼務
システム工学専攻（博士前期）	
システム工学専攻（博士後期）	
デザイン学研究科	※デザイン学部教員が兼務
デザイン工学専攻	
造形デザイン学専攻	

○教育研究等に関するセンター	特任教授	特任助教	計
教育開発センター		1	1
国際交流センター	1		1
合 計	1	1	2

事務組織

（令和元年5月1日現在）

	学長	副学長	事務局長	企画広報室	総務課	教学課	附属図書館	機構	計
■教 員	1	3							4
■事務職員			1	9	22	20	3	3	58
合 計	1	3	1	9	22	20	3	3	62

※企画広報室は欠員1名
※副学長3名は兼務

○中期目標・中期計画・年度計画

地方独立行政法人法の規定に基づき、平成31年4月から令和7年3月までの6年間に
いて、公立大学法人岡山県立大学が達成すべき業務運営に関する目標（第3期中期目標）
及び当該中期目標を達成するための計画（第3期中期計画）を定めています。

また、この中期計画に基づき、当該年度の業務運営に関する計画を年度計画として定め
ています。

※全文は、ホームページ（<http://www.oka-pu.ac.jp>）をご覧ください。

○教育活動上の目的

学部・学科

保健福祉学部

保健福祉学部は、地域の人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる保健、医療、福祉に関する基本的知識と技術を修得し、健康課題に対して科学的な思考や分析に基づいた課題解決能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材を養成することを目指しています。

・看護学科

看護学科は、人々が健康で豊かなその人らしい人生が実現できるように、看護の専門知識と技術を活かして、地域におけるあらゆる健康レベルの人々（家族・集団・地域）の生涯を通じた健康を支援し、地域社会に貢献できる看護専門職の育成を目指しています。

・栄養学科

栄養学科は、超高齢社会の到来や生活習慣病予防が重要視されている現代社会において、食と健康の相互関係を科学理論によって理解し、未知なる事象の解明に向けて研究する姿勢を身に付け、栄養学を人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用し、広く地域社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

・保健福祉学科

保健福祉学科は、深い教養と豊かな人間性を兼ね備え、福祉的視点と方法に基づいて、子ども、障がい者、高齢者等すべての人々の自立と自己実現を支援し、健康と幸福の増進に寄与することのできる人材を育成することを目指しています。社会福祉学専攻では、特に社会における多様な福祉課題に対処する問題解決能力と共感力を持った人材を、また子ども学専攻では、教育的視点と方法を併せ持った、子どもの育ちと学びに関わる人材を育成することを目指しています。

情報工学部

情報工学とは、情報の伝送・認識・処理・利用にかかわるハードウェアとソフトウェアの技術を研究開発するための学問です。情報工学部は、情報技術を活用して、人間及び自然との調和を図りながら高度情報化社会の持続的発展に貢献できる技術者の育成を目指しています。

・情報通信工学科

情報通信工学科は、日々進歩し続ける情報通信技術（ICT）を支えている情報工学、通信工学、電子工学の3つの学問領域を共通の基盤として、各種情報システムの知能化等に必要となるソフトウェア技術及びシステムの超高速化等に欠かせないハードウェア技術を有し、情報通信技術（ICT）の利用者視点を理解するとともに、グローバルな視野に立って社会に貢献できる人材の育成を目指しています。

・情報システム工学科

情報システム工学科は、コンピュータの発展に貢献できる情報工学、力学に基礎を置くものづくりのための機械工学、人間と機械やコンピュータを結びつけるインタフェース工学などの学問を身に付け、領域横断型のエンジニアとしてのセンスを持って、新たな工学的価値の創出に積極的に参加できる人材の育成を目指しています。

・人間情報工学科

人間情報工学科の教育研究のキーワードは「人間中心の設計思想」です。身体とその「うごき」を扱う人間系のサイエンス並びに情報・コミュニケーションと密接に関連する情報系のエンジニアリングを融合的に学び、使う人の様々な特性やニーズの視点に立った「もの」や「サービス」の設計能力を身に付けた人材の育成を目指しています。

デザイン学部

デザイン学部では、本学の理念に沿う実学の体現者として、豊かな教養と深い専門性を備え、新しい時代を切り拓く人材の育成を通じて、グローバルな視点で地域や社会の学術文化の進展及び産業の振興に貢献できる人材の育成を目指しています。

・デザイン工学科

デザイン工学科では、共通教育に加えて、製品・情報デザイン領域あるいは建築・都市デザイン領域での専門教育により、これらの関係性を知識・技能の修得を通じて学ぶことで、地域社会・国際社会の持続的発展のために、その能力を長きにわたって発揮できる、デザイナー・建築家等の実務担当者の育成を目指しています。

・造形デザイン学科

造形デザイン学科では、共通教育に加えて、ビジュアルデザイン領域あるいは造形デザイン領域における専門教育により、これらの関係性を知識・技能の修得を通じて学ぶことで、地域社会・国際社会の持続的発展のために、その能力を長きにわたって発揮できる、デザイナー・造形スペシャリスト等の実務担当者の育成を目指しています。

大学院研究科・専攻

保健福祉学研究科(博士前期課程)

保健福祉学研究科は、保健・医療・福祉分野における問題点を提起してそれを解決し得る研究能力を持つとともに、専門職としての高度な知識・技術を身に付けることにより、健康で夢の持てる地域社会の実現に貢献し得る人材の育成を目指しています。

・看護学専攻(博士前期課程)

看護学専攻は、学際的で高い看護の専門的知識と基礎的な研究能力を活かして、保健医療福祉分野における課題を解決し、国内外の看護における実践・教育・研究の場で社会のニーズに応え、貢献できる人材の育成を目指しています。

・栄養学専攻(博士前期課程)

栄養学専攻は、食品の機能や臨床栄養などの人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決できる優れた専門性を備えるとともに、豊かな創造力と問題解決能力を身に付け、それぞれの領域で活躍できる人材の育成を目指しています。

・保健福祉学専攻(博士前期課程)

保健福祉学専攻は、保健福祉学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、保健福祉に関連した臨床や政策の諸問題を解決できる優れた専門性を備えた人材の育成を目指しています。

・保健福祉科学専攻(博士後期課程)

保健福祉科学専攻は、人間の健康問題に関して、生命や栄養、看護・福祉など各方面からアプローチし、保健福祉科学に係る学問をさらに深化させることにより、保健福祉問題の解決策を提案できる高度な見識を備えた各専門職領域の実践者、指導者、研究者及び教育者の育成を目指しています。

情報系工学研究科

情報系工学研究科は、情報工学部における学士課程の教育目標の延長線上にその教育目標を置き、情報技術を活用して、人間及び自然との調和を図りながら高度情報化社会の持続的発展に大いに貢献できるグローバル人材の育成を目指しています。

・システム工学専攻（博士前期課程）

システム工学専攻は、研究者あるいは技術者の立場から、高度情報化社会の中核となって産業社会の発展を支えていく人材、幅広い技術的基盤を基に「実システム」の創造的な設計ができる人材、豊かな人間性と倫理観を兼ね備えた人材、環境変化や産業構造の変化に柔軟に適応できる判断力とコミュニケーション能力を持つグローバル人材の育成を目指しています。

・システム工学専攻（博士後期課程）

システム工学専攻は、今後ますます多様化、複雑化する社会からの要請に応えるべく、公的研究機関のみならず民間企業において、情報系の学術分野を現実課題の解決に適応できる研究者及び高度専門技術者を養成することを目標に、専門領域の深化と統合を通じて、新たな問題を発掘し解決する能力を持つグローバル人材の育成を目指しています。

デザイン学研究科

デザイン学研究科は、グローバルな視野と感性を持ち、社会を的確にとらえ時代の変化を洞察することで、将来予想される問題を優れたデザインの創出により解決し、豊かで新しい便利な生活と文化に寄与できる人材の育成を目指しています。

・デザイン工学専攻（修士課程）

デザイン工学専攻は、地域社会と産業界の要請に応えられる、高度な専門的知識・技能・技術をベースにした総合的な思考力を有する高度専門職業人として多様な価値創造が可能なデザイナー及び研究者の育成を目指しています。

・造形デザイン学専攻（修士課程）

造形デザイン学専攻は、造形デザイン学の理論と技術を修得する教育研究を行い新たな造形デザイン構築において諸問題を総合的な視点から解決し、社会に貢献することのできる高度専門職業人としてのデザイナー及び研究者を育成することを目指しています。

○学部状況

構成・学生数

入学
定員

在 学 者 数

令和元年5月1日現在

	入学 定員	一年次			二年次			三年次			四年次			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
■保健福祉学部	140	6	145	151	9	138	147	11	136	147	16	134	150	42	553	595
看護学科	40	1	41	42	2	42	44	2	39	41	3	43	46	8	165	173
栄養学科	40	3	37	40	2	40	42	3	42	45	3	37	40	11	156	167
保健福祉学科	60	2	67	69	5	56	61	6	55	61	10	54	64	23	232	255
■情報工学部	140	140	18	158	131	17	148	143	23	166	178	23	201	592	81	673
情報通信工学科	50	45	5	50	55	4	59	55	9	64	58	8	66	213	26	239
情報システム工学科	50	58	6	64	44	5	49	56	5	61	59	7	66	217	23	240
スポーツシステム工学科											4		4	4		4
人間情報工学科	40	37	7	44	32	8	40	32	9	41	57	8	65	158	32	190
■デザイン学部	90	34	66	100	20	73	93	32	59	91	34	68	102	120	266	386
デザイン工学科	40	25	20	45	16	28	44	24	16	40	21	23	44	86	87	173
造形デザイン学科	50	9	46	55	4	45	49	8	43	51	13	45	58	34	179	213
合 計	370	180	229	409	160	228	388	186	218	404	228	225	453	754	900	1,654

入学状況 【大 学 計】

令和元年5月1日現在

	募集 人員	志願者(うち県内)	受験者	合格者(うち県内)	入学者(うち県内)	(うち女子)	※実質 倍率			
■平成29年度	370	2,426	767	1,565	599	221	408	186	218	2.6
●保健福祉学部	140	490	278	383	162	94	147	86	136	2.4
●情報工学部	140	1,675	422	935	337	95	169	68	23	2.8
●デザイン学部	90	261	67	247	100	32	92	32	59	2.5
■平成30年度	370	2,825	898	1,854	573	223	390	201	229	3.2
●保健福祉学部	140	534	324	404	163	103	148	97	139	2.5
●情報工学部	140	2,043	480	1,208	309	78	149	63	17	3.9
●デザイン学部	90	248	94	242	101	42	93	41	73	2.4
■平成31年度	370	2,771	837	1,746	580	204	409	183	229	3.0
●保健福祉学部	140	549	309	405	158	91	151	88	145	2.6
●情報工学部	140	2,020	460	1,149	322	79	158	61	18	3.6
●デザイン学部	90	202	68	192	100	34	100	34	66	1.9

※実質倍率＝受験者数／合格者数

【保健福祉学部】

	募集 人員	志願者(うち県内)	受験者	合格者(うち県内)	入学者(うち県内)	(うち女子)	※実質 倍率			
■平成29年度	140	490	278	383	162	94	147	86	136	2.4
○看護学科	40	142	91	101	46	26	41	23	39	2.2
○栄養学科	40	139	52	135	47	19	44	17	41	2.9
○保健福祉学科 社会福祉学専攻	40	119	70	82	46	29	41	26	35	1.8
○保健福祉学科 子ども学専攻	20	90	65	65	23	20	21	20	21	2.8
■平成30年度	140	534	324	404	163	103	148	97	139	2.5
○看護学科	40	145	103	96	45	38	44	38	42	2.1
○栄養学科	40	134	51	131	47	20	43	19	41	2.8
○保健福祉学科 社会福祉学専攻	40	152	88	97	50	29	41	25	37	1.9
○保健福祉学科 子ども学専攻	20	103	82	80	21	16	20	15	19	3.8
■平成31年度	140	552	309	407	159	91	151	88	145	2.6
○看護学科	40	186	118	133	43	29	42	28	41	3.1
○栄養学科	40	103	48	99	46	18	40	16	37	2.2
○保健福祉学科 社会福祉学専攻	40	183	81	116	48	25	47	25	45	2.4
○保健福祉学科 子ども学専攻	20	80	62	59	22	19	22	19	22	2.7

【情報工学部】

	募集 人員	志願者(うち県内)	受験者	合格者(うち県内)	入学者(うち県内)	(うち女子)	※実質 倍率			
■平成29年度	140	1,675	422	935	337	95	169	68	23	2.8
○情報通信工学科	50	552	134	322	118	32	64	22	9	2.7
○情報システム工学科	50	723	172	377	140	37	62	25	5	2.7
○人間情報工学科	40	400	116	236	79	26	43	21	9	3.0
■平成30年度	140	2,043	480	1,208	309	78	149	63	17	3.9
○情報通信工学科	50	676	139	410	110	23	59	21	4	3.7
○情報システム工学科	50	1,042	238	578	132	33	50	24	5	4.4
○人間情報工学科	40	325	103	220	67	22	40	18	8	3.3
■平成31年度	140	2,024	460	1,152	323	79	158	61	18	3.6
○情報通信工学科	50	674	154	380	109	23	50	20	5	3.5
○情報システム工学科	50	914	207	504	140	36	64	25	6	3.6
○人間情報工学科	40	436	99	268	74	20	44	16	7	3.6

【デザイン学部】

	募集 人員	志願者(うち県内)	受験者	合格者(うち県内)	入学者(うち県内)	(うち女子)	※実質 倍率			
■平成29年度	90	261	67	247	100	32	92	32	59	2.5
○デザイン工学科	40	137	25	131	46	11	40	11	16	2.8
○造形デザイン学科	50	124	42	116	54	21	52	21	43	2.1
■平成30年度	90	248	94	242	101	42	93	41	73	2.4
○デザイン工学科	40	104	24	100	47	13	43	12	28	2.1
○造形デザイン学科	50	144	70	142	54	29	50	29	45	2.6
■平成31年度	90	204	68	194	101	34	100	34	66	1.9
○デザイン工学科	40	96	20	88	46	14	45	14	20	1.9
○造形デザイン学科	50	108	48	106	55	20	55	20	46	1.9

※実質倍率=受験者数/合格者数

学生の異動状況

	編入	転学	休学	復学	退学	除籍
■平成28年度	0	0	41	14	20	2
●保健福祉学部	0	0	3	1	2	1
○看護学科	0	0	2	0	1	0
○栄養学科	0	0	1	1	0	0
○保健福祉学科	0	0	0	0	1	1
●情報工学部	0	0	21	9	10	1
○情報通信工学科	0	0	4	3	3	0
○情報システム工学科	0	0	15	4	6	1
○人間情報工学科	0	0	2	2	1	0
●デザイン学部	0	0	17	4	8	0
○デザイン工学科	0	0	8	2	3	0
○造形デザイン学科	0	0	9	2	5	0
■平成29年度	0	0	35	13	25	2
●保健福祉学部	0	0	5	2	3	0
○看護学科	0	0	1	1	1	0
○栄養学科	0	0	1	0	1	0
○保健福祉学科	0	0	3	1	1	0
●情報工学部	0	0	13	7	9	0
○情報通信工学科	0	0	0	1	4	0
○情報システム工学科	0	0	7	5	3	0
○人間情報工学科	0	0	6	1	2	0
●デザイン学部	0	0	17	4	13	2
○デザイン工学科	0	0	8	1	6	0
○造形デザイン学科	0	0	9	3	7	2
■平成30年度	0	0	34	18	18	0
●保健福祉学部	0	0	8	3	2	0
○看護学科	0	0	3	1	0	0
○栄養学科	0	0	3	0	1	0
○保健福祉学科	0	0	2	2	1	0
●情報工学部	0	0	11	9	7	0
○情報通信工学科	0	0	3	1	2	0
○情報システム工学科	0	0	6	3	3	0
○人間情報工学科	0	0	2	5	2	0
●デザイン学部	0	0	15	6	9	0
○デザイン工学科	0	2	4	3	4	0
○造形デザイン学科	0	△2	11	3	5	0

※上記は延べ件数（1学生を複数項目でカウントしている場合がある。）

※転学欄は、学内の転学科及び転学部の件数

卒業生数累計

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	H30年度末 累計
●保健福祉学部	146	142	144	3,054
○看護学科	43	37	40	957
○栄養学科	40	42	43	958
○保健福祉学科	63	63	61	1,139
●情報工学部	157	143	142	2,804
○情報通信工学科	61	57	57	1,212
○情報システム工学科	53	49	46	1,196
○スポーツシステム工学科	43	37	7	364
○人間情報工学科※1	-	-	32	32
●デザイン学部	81	77	83	1,889
○デザイン工学科	40	35	42	402
○造形デザイン学科	41	42	41	471
○ビジュアルデザイン学科※2	-	-	-	498
○工芸工業デザイン学科※2	-	-	-	518
合 計	384	362	369	7,747

※1 平成27年4月名称変更：スポーツシステム工学科⇒人間情報工学科

※2 平成18年4月デザイン学部再編

就職内定状況

(各年度3月31日現在)

	卒業生			うち就職希望者			就職者			うち県内			うち県外			就職率 (%)	進学・その他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計
平成28年度 (第21期生) 計	169	215	384	113	199	312	111	193	304	57	108	165	54	85	139	97.4	56	16	72
●保健福祉学部	11	135	146	7	124	131	7	123	130	6	82	88	1	41	42	99.2	4	11	15
看護学科	6	37	43	3	31	34	3	31	34	3	23	26	0	8	8	100	3	6	9
栄養学科	1	39	40	1	38	39	1	38	39	1	22	23	0	16	16	100	0	1	1
保健福祉学科 社会福祉学専攻	4	38	42	3	35	38	3	34	37	2	22	24	1	12	13	97.4	1	3	4
保健福祉学科 子ども学専攻	0	21	21	0	20	20	0	20	20	0	15	15	0	5	5	100	0	1	1
●情報工学部	145	12	157	96	11	107	95	11	106	51	7	58	44	4	48	99.1	49	1	50
情報通信工学科	57	4	61	33	4	37	32	4	36	15	4	19	17	0	17	97.3	24	0	24
情報システム工学科	49	4	53	38	3	41	38	3	41	25	2	27	13	1	14	100	11	1	12
スポーツシステム工学科	39	4	43	25	4	29	25	4	29	11	1	12	14	3	17	100	14	0	14
●デザイン学部	13	68	81	10	64	74	9	59	68	0	19	19	9	40	49	91.9	3	4	7
デザイン工学科	11	29	40	9	28	37	8	27	35	0	8	8	8	19	27	94.6	2	1	3
造形デザイン学科	2	39	41	1	36	37	1	32	33	0	11	11	1	21	22	89.2	1	3	4
平成29年度 (第22期生) 計	166	195	361	115	181	296	108	174	282	53	93	146	55	81	136	95.3	51	14	65
●保健福祉学部	17	125	142	15	116	131	14	114	128	8	73	81	6	41	47	97.7	2	9	11
看護学科	1	36	37	1	29	30	1	29	30	1	18	19	0	11	11	100	0	7	7
栄養学科	4	38	42	2	38	40	2	36	38	0	19	19	2	17	19	95.0	2	0	2
保健福祉学科 社会福祉学専攻	11	32	43	11	30	41	10	30	40	6	24	30	4	6	10	97.6	0	2	2
保健福祉学科 子ども学専攻	1	19	20	1	19	20	1	19	20	1	12	13	0	7	7	100	0	0	0
●情報工学部	131	12	143	87	11	98	84	11	95	44	5	49	40	6	46	96.9	44	1	45
情報通信工学科	52	5	57	33	5	38	32	5	37	17	1	18	15	4	19	97.4	19	0	19
情報システム工学科	44	5	49	27	4	31	25	4	29	12	3	15	13	1	14	93.5	17	1	18
スポーツシステム工学科	35	2	37	27	2	29	27	2	29	15	1	16	12	1	13	100	8	0	8
●デザイン学部	18	58	76	13	54	67	10	49	59	1	15	16	9	34	43	88.1	5	4	9
デザイン工学科	11	24	35	8	22	30	6	21	27	1	4	5	5	17	22	90.0	3	2	5
造形デザイン学科	7	34	41	5	32	37	4	28	32	0	11	11	4	17	21	86.5	2	2	4
平成30年度 (第23期生) 計	143	226	369	92	206	298	91	204	295	45	109	154	46	95	141	99.0	51	20	71
●保健福祉学部	9	135	144	6	126	132	6	126	132	2	79	81	4	47	51	100	3	9	12
看護学科	2	38	40	0	33	33	0	33	33	0	24	24	0	9	9	100	2	5	7
栄養学科	2	41	43	2	38	40	2	38	40	0	22	22	2	16	18	100	0	3	3
保健福祉学科 社会福祉学専攻	4	37	41	4	36	40	4	36	40	2	21	23	2	15	17	100	0	1	1
保健福祉学科 子ども学専攻	1	19	20	0	19	19	0	19	19	0	12	12	0	7	7	100	1	0	1
●情報工学部	118	24	142	72	22	94	71	22	93	39	7	46	32	15	47	98.9	46	2	48
情報通信工学科	45	12	57	28	11	39	27	11	38	16	3	19	11	8	19	97.4	17	1	18
情報システム工学科	41	5	46	22	4	26	22	4	26	13	3	16	9	1	10	100	19	1	20
スポーツシステム工学科	6	1	7	5	1	6	5	1	6	2	0	2	3	1	4	100	1	0	1
人間情報工学科	26	6	32	17	6	23	17	6	23	8	1	9	9	5	14	100	9	0	9
●デザイン学部	16	67	83	14	58	72	14	56	70	4	23	27	10	33	43	97.2	2	9	11
デザイン工学科	10	32	42	9	28	37	9	28	37	2	10	12	7	18	25	100	1	4	5
造形デザイン学科	6	35	41	5	30	35	5	28	33	2	13	15	3	15	18	94.3	1	5	6

研究生・科目等履修生等

	研究生	委託生	外国人受託 研修員	科目等 履修生	特別聴 講学生	単 位 互 換 履 修 生	合計
■平成28年度	2	0	0	10	0	0	12
●保健福祉学部	2	0	0	10	0	0	12
○看護学科	0	0	0	0	0	0	0
○栄養学科	1	0	0	1	0	0	2
○保健福祉学科	1	0	0	9	0	0	10
●情報工学部	0	0	0	0	0	0	0
○情報通信工学科	0	0	0	0	0	0	0
○情報システム工学科	0	0	0	0	0	0	0
○人間情報工学科	0	0	0	0	0	0	0
●デザイン学部	0	0	0	0	0	0	0
○デザイン工学科	0	0	0	0	0	0	0
○造形デザイン学科	0	0	0	0	0	0	0
■平成29年度	1	0	0	7	0	0	8
●保健福祉学部	0	0	0	7	0	0	7
○看護学科	0	0	0	0	0	0	0
○栄養学科	0	0	0	0	0	0	0
○保健福祉学科	0	0	0	7	0	0	7
●情報工学部	0	0	0	0	0	0	0
○情報通信工学科	0	0	0	0	0	0	0
○情報システム工学科	0	0	0	0	0	0	0
○人間情報工学科	0	0	0	0	0	0	0
●デザイン学部	1	0	0	0	0	0	1
○デザイン工学科	0	0	0	0	0	0	0
○造形デザイン学科	1	0	0	0	0	0	1
■平成30年度	1	0	0	2	0	0	3
●保健福祉学部	0	0	0	1	0	0	1
○看護学科	0	0	0	0	0	0	0
○栄養学科	0	0	0	0	0	0	0
○保健福祉学科	0	0	0	1	0	0	1
●情報工学部	1	0	0	0	0	0	1
○情報通信工学科	1	0	0	0	0	0	1
○情報システム工学科	0	0	0	0	0	0	0
○人間情報工学科	0	0	0	0	0	0	0
●デザイン学部	0	0	0	1	0	0	1
○デザイン工学科	0	0	0	0	0	0	0
○造形デザイン学科	0	0	0	1	0	0	1

○大学院状況

構成・学生数

令和元年5月1日現在

【博士前期・修士課程】	入学 定員	在 学 者 数								
		1年次			2年次			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
■保健福祉学研究科（博士前期）	20	3	14	17	10	17	27	13	31	44
看護学専攻	7	0	6	6	1	12	13	1	18	19
栄養学専攻	6	0	5	5	2	5	7	2	10	12
保健福祉学専攻	7	3	3	6	7	0	7	10	3	13
■情報系工学研究科（博士前期）	52	43	2	45	43	1	44	86	3	89
システム工学専攻	52	43	2	45	43	1	44	86	3	89
■デザイン学研究科（修士課程）	16	0	7	7	3	1	4	3	8	11
デザイン工学専攻	7	0	3	3	2	0	2	2	3	5
造形デザイン学専攻	9	0	4	4	1	1	2	1	5	6
合 計	88	46	23	69	56	19	75	102	42	144

令和元年5月1日現在

【博士後期課程】	入学 定員	在 学 者 数											
		1年次			2年次			3年次			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
■保健福祉学研究科（博士後期課程）	5	1	6	7	2	5	7	2	13	15	5	24	29
保健福祉科学専攻													
■情報系工学研究科（博士後期課程）	6	4	1	5	1	0	1	5	2	7	10	3	13
システム工学専攻													
合 計	11	5	7	12	3	5	8	7	15	22	15	27	42

入学状況【博士前期・修士課程】

	募集 人員	志願者(うち学内)	受験者	合格者(うち学内)	入学者(うち学内)	(うち女子)	※実質 倍率
■平成29年度	88	85 (64)	83	78 (60)	71 (55)	(17)	1.1
●保健福祉学研究科	20	26 (12)	26	24 (12)	21 (10)	(14)	1.1
○看護学専攻	7	16 (8)	16	14 (8)	11 (6)	(8)	1.1
○栄養学専攻	6	3 (1)	3	3 (1)	3 (1)	(1)	1.0
○保健福祉学専攻	7	7 (3)	7	7 (3)	7 (3)	(5)	1.0
●情報系工学研究科	52	55 (50)	53	50 (46)	46 (43)	(1)	1.1
○システム工学専攻	52	55 (50)	53	50 (46)	46 (43)	(1)	1.1
●デザイン学研究科	16	4 (2)	4	4 (2)	4 (2)	(2)	1.0
○デザイン工学専攻	7	2 (1)	2	2 (1)	2 (1)	(0)	1.0
○造形デザイン学専攻	9	2 (1)	2	2 (1)	2 (1)	(2)	1.0
■平成30年度	88	73 (51)	73	70 (51)	66 (51)	(16)	1.0
●保健福祉学研究科	20	28 (10)	28	25 (10)	22 (10)	(15)	1.1
○看護学専攻	7	15 (7)	15	12 (7)	10 (7)	(10)	1.3
○栄養学専攻	6	7 (3)	7	7 (3)	7 (3)	(5)	1.0
○保健福祉学専攻	7	6 (0)	6	6 (0)	5 (0)	(0)	1.0
●情報系工学研究科	52	42 (39)	42	42 (39)	41 (39)	(1)	1.0
○システム工学専攻	52	42 (39)	42	42 (39)	41 (39)	(1)	1.0
●デザイン学研究科	16	3 (2)	3	3 (2)	3 (2)	(0)	1.0
○デザイン工学専攻	7	2 (2)	2	2 (2)	2 (2)	(0)	1.0
○造形デザイン学専攻	9	1 (0)	1	1 (0)	1 (0)	(0)	1.0
■平成31年度	88	91 (64)	90	80 (62)	69 (55)	(23)	1.1
●保健福祉学研究科	20	31 (10)	31	23 (10)	17 (8)	(14)	1.3
○看護学専攻	7	18 (3)	18	10 (3)	6 (3)	(6)	1.8
○栄養学専攻	6	6 (4)	6	6 (4)	5 (3)	(5)	1.0
○保健福祉学専攻	7	7 (3)	7	7 (3)	6 (2)	(3)	1.0
●情報系工学研究科	52	52 (49)	51	50 (47)	45 (42)	(2)	1.0
○システム工学専攻	52	52 (49)	51	50 (47)	45 (42)	(2)	1.0
●デザイン学研究科	16	8 (5)	8	7 (5)	7 (5)	(7)	1.1
○デザイン工学専攻	7	4 (2)	4	3 (2)	3 (2)	(3)	1.3
○造形デザイン学専攻	9	4 (3)	4	4 (3)	4 (3)	(4)	1.0
【博士後期課程】							
	募集 人員	志願者(うち学内)	受験者	合格者(うち学内)	入学者(うち学内)	(うち女子)	※実質 倍率
■平成29年度	11	13 (6)	13	12 (6)	11 (5)	(9)	1.1
●保健福祉学研究科	5	9 (4)	9	8 (4)	8 (4)	(7)	1.1
○保健福祉科学専攻							
●情報系工学研究科	6	4 (2)	4	4 (2)	3 (1)	(2)	1.0
○システム工学専攻							
■平成30年度	11	10 (2)	10	8 (2)	8 (2)	(5)	1.3
●保健福祉学研究科	5	9 (2)	9	7 (2)	7 (2)	(5)	1.3
○保健福祉科学専攻							
●情報系工学研究科	6	1 (0)	1	1 (0)	1 (0)	(0)	1.0
○システム工学専攻							
■平成31年度	11	12 (1)	12	12 (1)	12 (1)	(7)	1.0
●保健福祉学研究科	5	7 (1)	7	7 (1)	7 (1)	(6)	1.0
○保健福祉科学専攻							
●情報系工学研究科	6	5 (0)	5	5 (0)	5 (0)	(1)	1.0
○システム工学専攻							

※実質倍率＝受験者数／合格者数

学生の異動状況

【博士前期・修士課程】	休学	復学	退学	除籍
■平成28年度	8	3	8	0
●保健福祉学研究科	2	1	0	0
○看護学専攻	0	0	0	0
○栄養学専攻	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	2	1	0	0
●情報系工学研究科	5	1	6	0
○システム工学専攻	5	1	6	0
●デザイン学研究科	1	1	2	0
○デザイン工学専攻	1	1	1	0
○造形デザイン学専攻	0	0	1	0
■平成29年度	6	4	1	1
●保健福祉学研究科	4	3	0	1
○看護学専攻	1	1	0	0
○栄養学専攻	1	1	0	0
○保健福祉学専攻	2	1	0	1
●情報系工学研究科	0	1	0	0
○システム工学専攻	0	1	0	0
●デザイン学研究科	2	0	1	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	2	0	1	0
■平成30年度	6	0	4	0
●保健福祉学研究科	1	0	2	0
○看護学専攻	1	0	1	0
○栄養学専攻	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	0	0	1	0
●情報系工学研究科	4	0	2	0
○システム工学専攻	4	0	2	0
●デザイン学研究科	1	0	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	1	0	0	0

【博士後期課程】	休学	復学	退学	除籍
■平成28年度	11	6	8	0
●保健福祉学研究科	2	1	3	0
○保健福祉科学専攻				
●情報系工学研究科	9	5	5	0
○システム工学専攻				
■平成29年度	4	4	1	0
●保健福祉学研究科	1	2	0	0
○保健福祉科学専攻				
●情報系工学研究科	3	2	1	0
○システム工学専攻				
■平成30年度	6	1	1	0
●保健福祉学研究科	2	1	1	0
○保健福祉科学専攻				
●情報系工学研究科	4	0	0	0
○システム工学専攻				

修士及び博士の学位授与数

【博士前期・修士課程】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度末 累 計
●保健福祉学研究科	18	28	19	394
○看護学専攻	8	13	9	135
○栄養学専攻	7	7	3	122
○保健福祉学専攻	3	8	7	137
●情報系工学研究科	59	49	44	998
○電子情報通信工学専攻	0	0	0	348
○機械情報システム工学専攻	0	0	0	379
○人間情報システム工学専攻	0	0	0	25
○システム工学専攻	59	49	44	246
●デザイン学研究科	6	5	4	217
○ビジュアルデザイン学専攻	0	0	0	66
○工芸工業デザイン学専攻	0	0	0	83
○デザイン工学専攻	2	1	2	23
○造形デザイン学専攻	4	4	2	45
合 計	83	82	67	1,609

【博士後期課程】

	平成28年度 (うち論文博士)	平成29年度 (うち論文博士)	平成30年度 (うち論文博士)	平成30年度末 累 計 (うち論文博士)
●保健福祉学研究科				
○保健福祉科学専攻	4 (0)	11(0)	1(0)	73(5)
●情報系工学研究科				
○システム工学専攻	1 (0)	3(0)	1(0)	64(2)
合 計	5(0)	14(0)	2(0)	137(7)

※ () は内数で、岡山県立大学学位規程第3条第4項に定める学位(論文博士)数

就職内定状況

(各年度3月31日現在)

【博士前期・修士課程】	修了者			うち就職希望者			就職者			うち県内			うち県外			就職率 (%)	進学・その他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計
■平成28年度 計	66	16	82	62	12	74	60	12	72	3	18	21	46	5	51	97.3	4	4	8
●保健福祉学研究科	4	13	17	2	9	11	2	9	11	2	6	8	0	3	3	100	2	4	6
看護学専攻	2	6	8	1	3	4	1	3	4	1	3	4	0	0	0	100	1	3	4
栄養学専攻	2	4	6	1	4	5	1	4	5	1	1	2	0	3	3	100	1	0	1
保健福祉学専攻	0	3	3	0	2	2	0	2	2	0	2	2	0	0	0	100	0	1	1
●情報系工学研究科	58	1	59	56	1	57	54	1	55	0	11	11	43	1	44	96.5	2	0	2
システム工学専攻	58	1	59	56	1	57	54	1	55	0	11	11	43	1	44	96.5	2	0	2
●デザイン学研究科	4	2	6	4	2	6	4	2	6	1	1	2	3	1	4	100	0	0	0
デザイン工学専攻	1	1	2	1	1	2	1	1	2	1	1	2	0	0	0	100	0	0	0
造形デザイン学専攻	3	1	4	3	1	4	3	1	4	0	0	0	3	1	4	100	0	0	0
■平成29年度 計	49	32	81	46	24	70	46	23	69	17	10	27	29	13	42	98.6	3	8	11
●保健福祉学研究科	5	23	28	3	16	19	3	16	19	1	8	9	2	8	10	100	2	7	9
看護学専攻	0	13	13	0	9	9	0	9	9	0	8	8	0	1	1	100	0	4	4
栄養学専攻	1	6	7	1	6	7	1	6	7	0	0	0	1	6	7	100	0	0	0
保健福祉学専攻	4	4	8	2	1	3	2	1	3	1	0	1	1	1	2	100	2	3	5
●情報系工学研究科	43	5	48	42	5	47	42	5	47	16	2	18	26	3	29	100	1	0	1
システム工学専攻	43	5	48	42	5	47	42	5	47	16	2	18	26	3	29	100	1	0	1
●デザイン学研究科	1	4	5	1	3	4	1	2	3	0	0	0	1	2	3	75.0	0	1	1
デザイン工学専攻	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	100	0	0	0
造形デザイン学専攻	0	4	4	0	3	3	0	2	2	0	0	0	0	2	2	66.7	0	1	1
■平成30年度 計	49	16	65	47	10	57	45	9	54	13	4	17	32	5	37	94.7	2	6	8
●保健福祉学研究科	6	13	19	5	7	12	4	7	11	2	4	6	2	3	5	91.7	1	6	7
看護学専攻	2	7	9	2	4	6	2	4	6	2	3	5	0	1	1	100	0	3	3
栄養学専攻	2	1	3	2	1	3	1	1	2	0	0	0	1	1	2	66.7	0	0	0
保健福祉学専攻	2	5	7	1	2	3	1	2	3	0	1	1	1	1	2	100	1	3	4
●情報系工学研究科	41	1	42	40	1	41	39	1	40	10	0	10	29	1	30	97.6	1	0	1
システム工学専攻	41	1	42	40	1	41	39	1	40	10	0	10	29	1	30	97.6	1	0	1
●デザイン学研究科	2	2	4	2	2	4	2	1	3	1	0	1	1	1	2	75.0	0	0	0
デザイン工学専攻	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1	100	0	0	0
造形デザイン学専攻	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	50.0	0	0	0

【博士後期課程】	修了者			うち就職希望者			就職者			うち県内			うち県外			就職率 (%)	進学・その他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計
■平成28年度 計	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	2	0	2
●保健福祉学研究科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	1
保健福祉科学専攻	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	1
●情報系工学研究科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	1
システム工学専攻	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	1
■平成29年度 計	4	7	11	2	2	4	2	2	4	0	2	2	2	0	2	100	2	5	7
●保健福祉学研究科	3	5	8	2	2	4	2	2	4	0	2	2	2	0	2	100	1	3	4
保健福祉科学専攻	3	5	8	2	2	4	2	2	4	0	2	2	2	0	2	100	1	3	4
●情報系工学研究科	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	2	3
システム工学専攻	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	2	3
■平成30年度 計	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	1	2
●保健福祉学研究科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	1
保健福祉科学専攻	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	1
●情報系工学研究科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	1	1
システム工学専攻	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	1	1

研究生・
科目等履修生等

【博士前期・修士課程】

	研究生	委託生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
■平成28年度	1	0	0	0	1
●保健福祉学研究科	1	0	0	0	1
○看護学専攻	0	0	0	0	0
○栄養学専攻	1	0	0	0	1
○保健福祉学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0
●デザイン学研究科	0	0	0	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	0	0	0	0	0
■平成29年度	0	0	0	0	0
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○看護学専攻	0	0	0	0	0
○栄養学専攻	0	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0
●デザイン学研究科	0	0	0	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	0	0	0	0	0
■平成30年度	1	0	0	0	1
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○看護学専攻	0	0	0	0	0
○栄養学専攻	0	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	1	0	0	0	1
○システム工学専攻	1	0	0	0	1
●デザイン学研究科	0	0	0	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	0	0	0	0	0

【博士後期課程】

	研究生	委託生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
■平成28年度	0	0	1	0	1
●保健福祉学研究科	0	0	1	0	1
○保健福祉科学専攻	0	0	1	0	1
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0
■平成29年度	0	0	0	0	0
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○保健福祉科学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0
■平成30年度	0	0	0	0	0
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○保健福祉科学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0

○国家資格等取得状況

【大 学】

		看護師	助産師	管理栄養士	社会福祉士	介護福祉士	保育士
平成28年度	合格者	42	4	39	28	-	(取得者)
	／受験者	43	4	40	39	-	21名
	合格率 (%)	97.7	100	97.5	71.8	-	
平成29年度	合格者	37	4	40	31	25	(取得者)
	／受験者	37	4	42	39	25	20名
	合格率 (%)	100	100	95.2	79.5	100	
平成30年度	合格者	39	3	42	38	14	(取得者)
	／受験者	40	3	43	41	14	20名
	合格率 (%)	97.5	100	97.7	92.7	100	

【大学院（博士前期）】

		保健師
平成28年度	合格者	1
	／受験者	1
	合格率 (%)	100
平成29年度	合格者	7
	／受験者	8
	合格率 (%)	87.5
平成30年度	合格者	4
	／受験者	4
	合格率 (%)	100

※平成25年度から大学院（保健福祉学研究科看護学専攻）に保健師課程は移行しています。

○奨学生数

学生の教育機会を保障するための奨学金には、独立行政法人日本学生支援機構、民間団体によるもの、学生の出身地によるもの（各都道府県、市町村など地方公共団体が行うもの）、病気遺児・交通遺児を対象としたもの（交通遺児育英資金、あしなが育英会など）などがあります。

このうち、独立行政法人日本学生支援機構から貸与・給付を受けている奨学生の状況は次のとおりです。

【大 学】

平成31年3月31日現在

	保健福祉学部	情報工学部	デザイン学部	合 計
第一種(無利子)	179	151	83	413
第二種(有利子)	86	114	58	258
給付	9	2	5	16
合 計	274	267	146	687

【大学院（博士前期・修士課程）】

平成31年3月31日現在

	保健福祉学 研究科	情報系工学 研究科	デザイン学 研究科	合 計
第一種(無利子)	10	44	1	55
第二種(有利子)	3	3	0	6
合 計	13	47	1	61

【大学院（博士後期課程）】

平成31年3月31日現在

	保健福祉学 研究科	情報系工学 研究科	合 計
第一種(無利子)	0	1	1
第二種(有利子)	0	0	0
合 計	0	1	1

○附属図書館

附属図書館は、1・2階合わせて2,608㎡の総フロアを有します。閲覧室の座席数は、研究閲覧室(4室)、グループ閲覧室(1室、12名用)を含めて201席あります。また、AV(視聴覚)コーナーを設置し、AV教材による学習ができるシステム(4台)を備えています。

その他にOPAC(蔵書検索)端末5台、インターネット検索等ができる端末31台、マイクロリーダー1台を設置しています。

所蔵資料は、図書・製本雑誌等が約21万冊、視聴覚資料(DVD・ビデオ)が約5,000本、購読雑誌が約200種で、すべてコンピュータ管理されています。

エントランスホールには、可動式のテーブルと椅子、ホワイトボード及び電子黒板を設置し、グループワーク等が出来るスペースを設けています。

当館は、岡山県立図書館(岡山市北区丸の内2-6-30)の利用者カードを発行することができます。また、貸出図書の受取・返却館として利用することができます。

【蔵書数】

平成31年3月31日現在

分類	和書	洋書	計
総記	13,281 冊	3,153 冊	16,434 冊
哲学	8,117	1,247	9,364
歴史	6,407	566	6,973
社会科学	37,556	5,267	42,823
自然科学	45,664	13,422	59,086
工学・工業	18,027	5,298	23,325
産業	2,803	439	3,242
芸術・スポーツ	19,795	4,543	24,338
語学	4,489	4,204	8,693
文学	11,453	1,002	12,455
計	167,592	39,141	206,733

製本雑誌	16,148 冊
和雑誌	1,969 種
洋雑誌	309 種
視聴覚資料	5,211 本

【附属図書館】



○厚生施設

学生会館

学生及び教職員の福利厚生の増進並びにコミュニケーション促進の場として利用されています。



施設	面積	備考
学生会館	2,991.79㎡	鉄筋コンクリート造3階建
1階 食堂	1,000.84㎡	452席
2階 喫茶	261.89㎡	116席
コンビニ	245.62㎡	
ラウンジ・ホール	118.94㎡	
3階 多目的室	178.70㎡	
茶室	34.09㎡	
学生支援室(SAS)	81.53㎡	
トイレ、廊下ほか	1,070.18㎡	

スポーツ施設

施設	構造・面積	備考
陸上競技場	20,600㎡	400mトラック
グラウンド	17,918㎡	2面
野球場	18,302㎡	1面
テニスコート	6,638㎡	硬式6面、軟式3面
体育館	RC造2階建 3,033㎡	アリーナ、トレーニング室、格技場、ロッカールーム
プール	(建物部分)RC造 237㎡	50m×8コース(SUS 1,861.50m ³)
部室棟	RC造2階建 767㎡	部室26室

学生相談施設

学生相談室

心や健康の悩み、学業や将来のこと、友人や恋愛のことなど学生生活全般における悩みについて、カウンセラーが相談に応じています。

<平成30年度利用状況>

	学生	教職員	保護者等	合計
利用者数	50	7	5	62

保健室

学生の健康管理のため、健康診断、健康相談、学生相談、応急処置などを行っています。

<平成30年度利用者数 1,379名>

	疾患			検査	相談	証明書	その他	入学試験 救護等
	内科	外科	その他					
利用者数	81	123	11	93	214	300	550	7

○学内共同教育研究施設

共通教育部

全学的な視点から、共通教育科目に関する教育活動を円滑かつ有効に実施するため、平成27年4月に設置され、共通教育に関する計画・編成・実施・評価等の業務を行っています。ここに、教養、語学、情報、健康・スポーツの各教育推進室を設置しています。教員は本学の学部専任教員が兼務しています。

教育研究等に関するセンター

教育開発センター

4部門から構成され、アドミッション（入学者対応）、共通教育、FD（教育改善の活動）、授業・成績の評価等について、教育の改善に向けた全学的な取組を行う組織で、平成26年10月に設置されました。

当センターでは、大学の学生教育を活性化するとともに、教育の質の向上と多様性を追求し、入学希望者のさまざまなニーズに応えることで、地域の発展に寄与する高い資質を有する卒業生（修了生）を社会に送り出すことを念頭に置いて活動しています。

キャリア・学生生活支援センター

キャリア形成や学生生活の充実にに向けた相談・支援を総合的に行う目的で、平成31年4月に設置されました。

センターには、学生のキャリア形成を支援する〔キャリア形成支援部門〕、就職を支援する〔就職支援部門〕、正課外活動やボランティア活動を支援する〔正課外・ボランティア活動支援部門〕、障がいのある学生を含めて大学生生活を支援する〔学生生活支援部門〕の4部門があり、それぞれが連携して学生を支援します。

また、心身の健康をサポートする学生相談室及び保健室とも必要に応じて連携し、快適な学生生活の実現にも配慮します。

国際交流センター

本学の国際交流とグローバル教育推進の支援を行うことを目的とし、平成26年10月に設置されました。

当センターでは、本学の教育研究に係る国際交流事業の企画及び実施、学生・教職員の海外派遣の企画並びに調整、海外からの研究者・留学生等の受入推進、各学部・学科等が実施する国際交流事業への協力、海外協定大学との交渉及び接遇等を行っています。

具他的には、語学文化研修やスタディツアーの企画実施とともに、ネイティブスタッフとの英会話を楽しめる「英語村」の開設、豪州アデレード大学との「スカイプ英語」の実施をはじめとした様々な取組を通じて、国際交流の推進に努めています。

学術研究推進センター

本学における教員の研究活動を全学的に推進する機関として「学術研究推進センター」を平成27年10月に設置されました。

当センターでは、平成26年に改正された研究活動における不正行為や研究費の不正使用に関する文部科学省のガイドラインに基づき、教職員等の研究者倫理及びコンプライアンス意識の向上を図り、教員の研究が適正かつ効果的に行われ、社会の信頼に応え得るものとなるよう支援しています。

情報等に関するセンター

総合情報推進センター

情報化が社会のあらゆる分野において広がっていることを受けて、学内ネットワーク等の学内情報基盤の整備・運用を行っています。

また、学生の情報活用能力の向上を図り、研究・課題に取り組む環境を提供するため、ネットワークに接続したPCを自由に利用できるよう整備提供する等、学生教育と教員の教育研究活動を支援する体制を整えています。さらに、学内ネットワークのセキュリティにも即応体制をとっています。

広報メディア開発センター

当センターでは、広報計画の企画立案、広報誌等の編集・デザイン、大学案内やホームページ等様々な広報メディアの開発、活用を推進しています。

地域共同研究機構

地域コミュニティの中核的存在として地域貢献活動の全学的な取組み強化を目的に、産学官連携推進センター、地域連携推進センター、COC+ 推進室、社会連携推進室の2センター2室で構成しており、それぞれが主体的に活動しながら相互に連携を取り、学部横断的な地域貢献活動を強力かつ効率的に進めています。本機構では主に、知財管理、研究シーズの情報発信、OPUフォーラムの開催、重点領域研究の管理等を行い、地域社会及び行政機関との連携を深めることにより、科学技術・産業の振興及び福祉の充実を図るとともに、豊かな地域づくりを推進しています。

産学官連携推進センター

本学が保有する学術研究情報・技術等の知的資源を活用し、地域社会のニーズに対応した技術相談や地域企業との共同・受託研究を推進しています。さらに、教員とコーディネータが企業等へ直接出向き、研究シーズ紹介や情報交換を行うアクティブ・ラボや、岡山県の経済団体、行政、産業支援機関、金融機関との連携・協働活動など、活発な産学官連携活動を通じて企業等との連携を実施しています。

【重点領域研究】

領 域	研 究 課 題
健康・福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒューマンケアリングを中心としたカリキュラムの作成 ・高齢者施設における栄養・腸内環境とフレイルの関係 ・地域連携を基盤とする生活習慣改善に伴う身体の応答・適応の評価を目的とする介入試験
地域・環境／モノ・コトづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・岡山の自然資源を活用した多世代交流拠点の創生：キャンパス内緑地における自然教育プログラムの開発
モノ・コトづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・ai-Okayama Society 5.0 インテグレーションコア ・人を引き込む身体的インタラクション・コミュニケーション技術 ・ものづくりを支援する数値解析法に関する研究

【OPUフォーラム】

OPUフォーラムは、本学の研究の状況を広く地域社会に知っていただき、地域の企業・団体との共同研究等の連携活動のきっかけづくりや機運高揚を目的に開催しています。

年 度	内 容	参加者
30	開催日 平成30年5月29日（火） テーマ オカヤマケンの想・造・力～知的好奇心、ここにあり。～ 講演 「地方から国民的ブームをつくる方法－人がみずから動く仕組みをつくる－」 株式会社 TM オフィス代表取締役 PR プロデューサー 殿村 美樹 氏 展示会 本学 132 件 企業・団体 29 件 センターの活動報告 6 件 学生成果発表 7 件 他	853 名

地域連携推進センター

自治体や地域団体等との協働による地域課題の解決、地域の人材育成及び本学学生のキャリア形成（コミュニケーション力、課題解決能力の育成）を目的とした地域連携事業に取り組んでいます。また、自治体、特に本学と連携協定を締結している6市（笠岡市・総社市・備前市・真庭市・赤磐市・岡山市）や地域の団体及び企業等と連携し、地域の雇用創出や学卒者の地域定着率の向上に努めています。

COC+ 推進室

平成27年9月に、文部科学省の「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に選定された、本学を代表校とする「地域で学び地域で未来を拓く『生き生きおかやま』人材育成事業」の取り組みである教育改革、域学連携及び産学連携を県内29の事業協働機関とともに推進することにより、地域を志向する人材の輩出とその受け皿づくりを行い、地方創生及び若者の地域定着率の向上に努めています。

社会連携教育推進室

本学の共通教育科目のうち、共通教育科目の社会連携のカテゴリーに配置される授業科目のカリキュラム案を作成及び実施し、地域で活躍するために必要な地域の理解と他者との協働性の養成に取り組んでいます。

○外部研究資金獲得状況

科学研究費助成事業

我が国の学術を振興するため、独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的として、文部科学省と独立行政法人日本学術振興会が分担して交付している競争的資金です。

【令和元（平成31）年度応募・採択状況】

平成31年4月22日現在

研究種目	応募件数	新規採択件数	継続件数	配分額(千円)	うち新規分(千円)
新学術領域研究	0	0	0	0	0
特定領域研究	0	0	0	0	0
特別推進研究	0	0	0	0	0
基盤研究（S）	0	0	0	0	0
基盤研究（A）	0	0	1	1,600	0
基盤研究（B）	3	1	2	5,600	2,900
基盤研究（C）	51	15	30	41,300	18,600
挑戦的萌芽研究	5	0	1	300	0
若手研究（B）	0	0	2	1,300	0
若手研究	6	4	4	8,600	4,600
研究活動スタート支援	0	0	0	0	0
研究成果公開促進費	0	0	0	0	0
特別研究員奨励金	0	0	0	0	0
学術創成研究費	0	0	0	0	0
合 計	65	20	40	58,700	26,100

※ 配分額には間接経費及び4/1に転出した教員の新規採択分は含まない。

※ 研究種目名の変更：萌芽研究→挑戦的萌芽研究 若手研究スタートアップ→研究活動スタート支援

※ 応募中の研究活動スタート支援は除く。（8月内定発表）

※ 基盤研究（特設分野）、挑戦的萌芽研究は7月内定発表予定

【採択件数・配分額の推移】

平成31年4月15日現在

上段：件数（件） 下段：配分額（千円）

研究種目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
新学術領域研究	0	0	0	0	0
特定領域研究	0	0	0	0	0
特別推進研究	0	0	0	0	0
基盤研究（S）	0	0	0	0	0
基盤研究（A）	0	0	0	0	1
基盤研究（B）	2	2	3	4	3
基盤研究（C）	36	45	36	49	45
挑戦的萌芽研究	2	4	4	3	1
若手研究（B）	16	14	11	5	2
若手研究	17,300	11,400	9,916	4,000	1,300
研究活動スタート支援	0	1	0	0	0
研究成果公開促進費	0	1,000	0	0	0
特別研究員奨励金	0	0	0	0	0
学術創成研究費	0	0	0	0	0
合 計	57	67	55	64	60
	63,783	68,800	60,116	69,750	58,700

共同研究・受託研究・教育研究奨励寄附金

産学官連携による地域貢献を推進するため、民間等の外部資金を導入して実施する研究です。

【件数・金額の推移】

上段：件数（件） 下段：獲得額（千円）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
共同研究	42 24,536	46 31,649	48 21,000	46 24,366	43 17,872
受託研究	29 32,592	27 52,959	18 45,926	24 38,781	20 48,678
教育研究奨励寄附金等	50 25,787	44 18,153	49 21,716	52 29,632	48 22,639

※ 獲得額には間接経費を含む。

教育の質向上に向けた大学教育改革の取組

大学改革推進等補助金とは、教育改革の取組を促進するため、国公私立大学を対象として教育の質向上に向けた大学教育改革の取組に対して、財政的なサポートや幅広い情報提供を行う文部科学省の補助金です。本学の取組実績は次のとおりです。

事業期間	取組内容
平成 18 ～ 20 年度	現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代GP） 「実践的チームガバナビリティー育成教育」 （実施主体）本学保健福祉学部
平成 21 ～ 23 年度	大学教育充実のための戦略的産学連携支援プログラム 「『岡山オルガノン』の構築」 （実施主体）岡山理科大学（代表校）外 ※本学は全学組織で対応
平成 22 ～ 23 年度	大学生の就業力育成支援事業（平成 23 年度をもって事業廃止） 「『デザイナーの卵』孵化推進教育プログラム」 （実施主体）本学デザイン学部
平成 24 ～ 26 年度	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業 ※平成 26 年度は【テーマA】教育改善・充実体制整備 「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」 （実施主体）島根大学（代表校）外 ※本学はデザイン学部が対応
平成 26 ～ 27 年度	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業 【テーマB】インターンシップ等の取組拡大 ※平成 27 年度は大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化） 「中国・四国圏域での産官学協働によるインターンシップ等の推進」 （実施主体）島根大学（代表校）外 ※本学はデザイン学部が対応
平成 27 ～ 31 年度	地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+） 「地域で学び地域で未来を拓く‘生き活きおかやま’人材育成事業」 （実施主体）本学（代表校）外 29 機関 ※事業協働機関は、県内の 9 大学、県内の 9 自治体、県内の経済団体、企業及び NPO 法人等 12 団体 （取組内容） おかやまの創生に向けて、産学官民が一体となってオール岡山で進める人材育成の取組。 教育改革、域学連携及び産学連携による活動を通じて、若者の地域連携教育を実践し、地域の活性化とともに、地域を志向する人材の輩出及びこれら人材の受け皿づくりを行い、若者の地域定着を図る。

○地域貢献

公開講座

地域に開かれた大学を目指し、地域貢献活動の一環として地域住民の生涯教育の場とするために公開講座を開催しています。

【開催状況】

年度	講座数	応募者数	修了者数	講座内容	
26	10	101	90	担当学部 テーマ	保健福祉学部 「認知症と向き合う～安心して豊かな老後を過ごすために～」
27	10	59	40	担当学部 テーマ	デザイン学部 「地域が求めるもの～「デザインのチカラ」」
28	8	34	21	担当学部 テーマ	情報工学部 「地域を活かす情報技術」
29	2	57	36	担当学部 テーマ	保健福祉学部 「知って得する糖尿病との付き合い方」
30	2	48	34	担当学部 テーマ	デザイン学部 「美と芸術について考える」

※ 2/3 以上の出席の者を修了者とする。

全学講義

広く全学生の教養を高めるとともに、地域文化の向上に寄与することを目的として、学生だけでなく地域住民や教員を対象に全学講義を開催しています。

【開催状況】

年度	参加者数	講座内容	
26	460	講師 演題	東京大学 名誉教授 坂本 功 氏 五重塔はなぜ地震に強いかー伝統的木造建築を現代工学で解き明かすー
27	420	講師 演題	岡山大学資源植物科学研究所 教授 馬 建鋒 氏 植物のミネラル輸送と我々の健康
28	450	講師 演題	公益社団法人経済同友会 教育改革委員会 委員長 天羽 稔 氏 学生時代になすべきこと ～これからの企業・社会が求める人材像～
29	450	講師 演題	骨董通り法律事務所 代表パートナー 福井 健策 氏 90分で学ぶ、情報発信に必須の著作権講座
30	420	講師 演題	民俗学者・旅の文化研究所 所長 神崎 宣武 氏 語り継ごう地域の文化カ－高梁川流域の古今東西ー

高大連携事業

平成 14 年 10 月に県教育委員会と連携教育の実施に係る協定を締結しました。この協定に基づき、県立高等学校生徒に対して大学レベルの教育を履修する機会を提供し、学習意欲や進路意識の高揚を図るとともに個性の一層の伸長に資するため、高等学校における科目の履修とみなし単位を与えることができる連携講座の開催や大学教員の高等学校への講師派遣（出前講義）を実施しています。

【公開授業・出前講義実績】

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
高校数（延・校）	11	15	8	12	10
受講人数（人）	841	682	259	803	223
うち連携講座	18	15	15	34	15
うち出前講義	823	667	244	769	208

※平成27年度以前の実績には、有償で実施したものを含む。

行政等との協働

連携協力に関する包括協定

協定機関	協定締結日
総社市	平成20年 2月20日
中国銀行・トマト銀行・おかやま信用金庫	平成20年 7月24日
特定非営利活動法人アムダ (AMDA)	平成22年 7月 6日
両備グループ	平成24年 2月 3日
山陽新聞社	平成24年 3月23日
特定非営利活動法人アムダ (AMDA)・総社市	平成25年 9月10日 (三者協定)
備前市	平成26年 7月29日
笠岡市	平成26年 7月29日
真庭市	平成26年 7月29日
学校法人アジアの風 岡山外語学院	平成28年 7月20日
片山工業 (株)・総社市	平成28年 8月22日 (三者協定)
赤磐市	平成30年 3月 1日
岡山市	平成30年 3月28日
備前市・(株) サンヨーホームズ	平成30年 3月29日 (三者協定)
学校法人加計学園岡山理科大学	平成30年11月27日
就実大学・就実短期大学	平成31年 3月18日

総社市との包括協定

【平成30年度連携事業】

- ① 県立大学長と総社市長を含む幹部同士の意見交換会
- ② インターンシップの実施
- ③ 県大そうじゃ子育てカレッジ
- ④ 小学生向け県大探検ツアー、夏休み工作教室
- ⑤ 総社市と連携・協働した各種研究活動 ほか

各種委員の応嘱 (平成30年度)

区分	国・独法	県	市町村	協議会・団体等	計
保健福祉学部	1	34	40	73	148
情報工学部	8	6	5	32	51
デザイン学部	0	13	27	19	59
総 計	9	53	72	124	258

講師派遣 (平成30年度)

区分	国・独法	県	市町村	協議会・団体等	教育機関	計
保健福祉学部	1	10	17	73	20	121
情報工学部	0	1	2	12	2	17
デザイン学部	0	4	3	5	1	13
総 計	1	15	22	90	23	151

非常勤医師・非常勤講師及び役員の派遣 (平成30年度)

区分	非常勤医師	非常勤講師	役員	計
保健福祉学部	7	29	2	38
情報工学部	0	18	3	21
デザイン学部	0	9	0	9
総 計	7	56	5	68

その他の地域への情報提供

【吉備創生カレッジ】

県内四年制大学により組織された「大学コンソーシアム岡山」の事業である社会人教育事業「シティカレッジ」と、山陽新聞社が県内大学の協力を得て開講した生涯学習講座「山陽新聞カレッジ」が統合して、「吉備創生カレッジ」を共同実施しています。

平成 30 年度は本学から 6 講座を提供しました。

○国際交流

国際交流は、学術・文化の国際的交流に伴う相互利益を増進することを目的としており、本学の「国際交流」は、「留学生の派遣・受入」、「短期研修生の派遣・受入」、「学術交流」等で構成されています。

交流協定

大 学 名	国名・地域名	協 定 締 結 日
バンガー大学	英 国	平成 8 年 3 月 6 日
セント・アンドリュース大学	英 国	平成 8 年 3 月 7 日
ウソン（又松）大学校	韓 国	平成 17 年 1 月 11 日
四川大学	中 国	平成 19 年 5 月 8 日
南昌大学	中 国	平成 19 年 7 月 17 日
ウソン（又松）大学校	韓 国	平成 20 年 4 月 28 日
四川大学	中 国	（トライアングル協定）
延辺大学	中 国	平成 20 年 9 月 1 日
東北師範大学	中 国	平成 23 年 9 月 19 日
ウソン（又松）大学校	韓 国	平成 24 年 10 月 3 日
東北師範大学	中 国	（トライアングル協定）
ハサヌディン大学	インドネシア	平成 26 年 4 月 27 日
アデレード大学	オーストラリア	平成 26 年 9 月 2 日
トリブバン大学	ネパール	平成 27 年 4 月 16 日
国立雲林科技大学	台 湾	平成 27 年 11 月 11 日
モンテレイ工科大学ブエブラ校	メキシコ	平成 27 年 12 月 9 日
モンテレイ大学	メキシコ	平成 27 年 12 月 11 日
河南科技大学	中 国	平成 28 年 8 月 25 日
ポートランド州立大学	アメリカ	平成 28 年 8 月 31 日
東南大学	中 国	平成 29 年 2 月 6 日
カセサート大学	タ イ	平成 30 年 1 月 30 日
ラハティ応用科学大学	フィンランド	平成 30 年 10 月 4 日

留 学 生

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
中 国	3	2	3	6	6	9
韓 国	7	5	2	2	1	2
そ の 他	2	3	1	1	2	3
計	12	10	6	9	9	14

学生海外研修 参加者数

		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度		
(本学から派遣)	語学文化研修	英国 (バンガー大学)	9	8	11	5	0	5	
		韓国 (ウソン大学校)	0	0	0	0	0	0	
		中国 (四川大学)	0	0	0	0	0	0	
		豪州 (アデレード大学)	14	9	12	15	9	0	
		韓国 (梨花女子大学)			7	2	3	2	
	スタディツアー	香港スタディツアー ※	5	0	0	4	4	6	
		台湾スタディツアー ※				3	5		
		米国スタディツアー					17	1	
	海外研修 (保健福祉学)	香港				3	8	8	
		韓国 I						13	
		韓国 II				15	9	9	
		豪州		10	7	14	12	0	
	(海外から受入)	日本語・日本文化研修	韓国 (ウソン大学校)	6	0	0	0	0	0
			韓国 (ナメ大学)	10	0	0	0	0	0
中国 (南昌大学)				11	11	0	0	0	
台湾 (雲林科技大学)						7	9	8	
台湾 (淡江大学)						5	5	0	
中国 (河南科技大学)						1	1	3	

※平成 30 年度は香港・台湾スタディツアーとして実施

○定期刊行物

- 大学広報紙 O P U
- 教育年報
- 社会貢献年報
- 大学案内
- 大学概要
- 地域共同研究機構
- おかやま COC+ 事業

○シンボルマーク



平成 19 年 4 月の公立大学法人化を機に、ロゴマークを一新することが決定され、デザイン学部 鈴木富士夫教授を中心とするプロジェクトチームにより考案されました。

開学からのシンボルカラーであるパープルを用いて、イニシャルの“O”をモチーフに 2 つの螺旋の組合せで構成されており、地域と大学との一体感や活動的で開かれたイメージを表現しています。また、勾玉を連想させる形に古代吉備の里という歴史ある地域を想起させます。



岡山県立大学の開学にあたり、初代デザイン学部長である出口良生教授を中心としたグループ（県立大学建設準備会第 6 分科会）により考案された開学当初の校章デザインです。

平成 5 年 3 月、岡山県に承認され、平成 19 年 4 月の法人化まで公式ロゴマークとして使用されました。

岡山県立大学のイニシャル（O P U）全体がリズムカルに次第に大きくなっており、力強い発展や、未来を拓くことを表現しています。

○予算・決算状況

平成 30 年度決算

貸借対照表

科 目	金 額
■資産の部	
I. 固定資産	
1. 有形固定資産	9,438,579
2. 無形固定資産	23,905
3. 投資その他の資産	100,000
固定資産合計	9,562,484
II. 流動資産	
現金及び預金	691,575
未収学生納付金収入	1,607
未収入金	7,717
たな卸資産	6,475
前払費用	7
未収収益金等	20
流動資産合計	707,401
資 産 合 計	10,269,885

(単位：千円)

科 目	金 額
■負債の部	
I. 固定負債	1,928,778
II. 流動負債	455,898
負 債 合 計	2,384,676
■純資産の部	
I. 資本金	12,091,633
II. 資本剰余金	△ 4,587,321
III. 利益剰余金	380,897
資 本 合 計	7,885,209
負債及び純資産合計	10,269,885

損益計算書

科 目	金 額
経常費用	3,591,366
業 務 費	3,272,837
一般管理費	318,439
財務費用	90
経常収益	3,366,237
運営費交付金収益	1,972,405
授業料等収益	1,110,412
受託研究等収益	63,584
補助金等収益	39,590
寄附金収益	25,498
施設費収益	1,968
資産見返負債戻入	86,517
財務収益	98
雑 益	66,165
経常利益	△ 225,129
臨時利益	154,575
当期純利益	△ 70,554
目的積立金取崩額	290,136
当期総利益	219,582

(単位：千円)

令和元年度予算

収 入

科 目	金 額
運営費交付金	2,101,571
補助金	133,679
授業料等収入	1,070,301
研究費等収入	101,217
その他収入	42,200
目的積立金取崩収入	41,271
収 入 計	3,490,239

(単位：千円)

支 出

科 目	金 額
教育経費	538,096
研究経費	159,746
教育研究支援経費	42,576
受託研究等経費	101,217
人件費	2,209,215
一般管理費等	439,389
支 出 計	3,490,239

(単位：千円)

○主な大学施設等

所在地

〒719-1197 岡山県総社市窪木111

土地

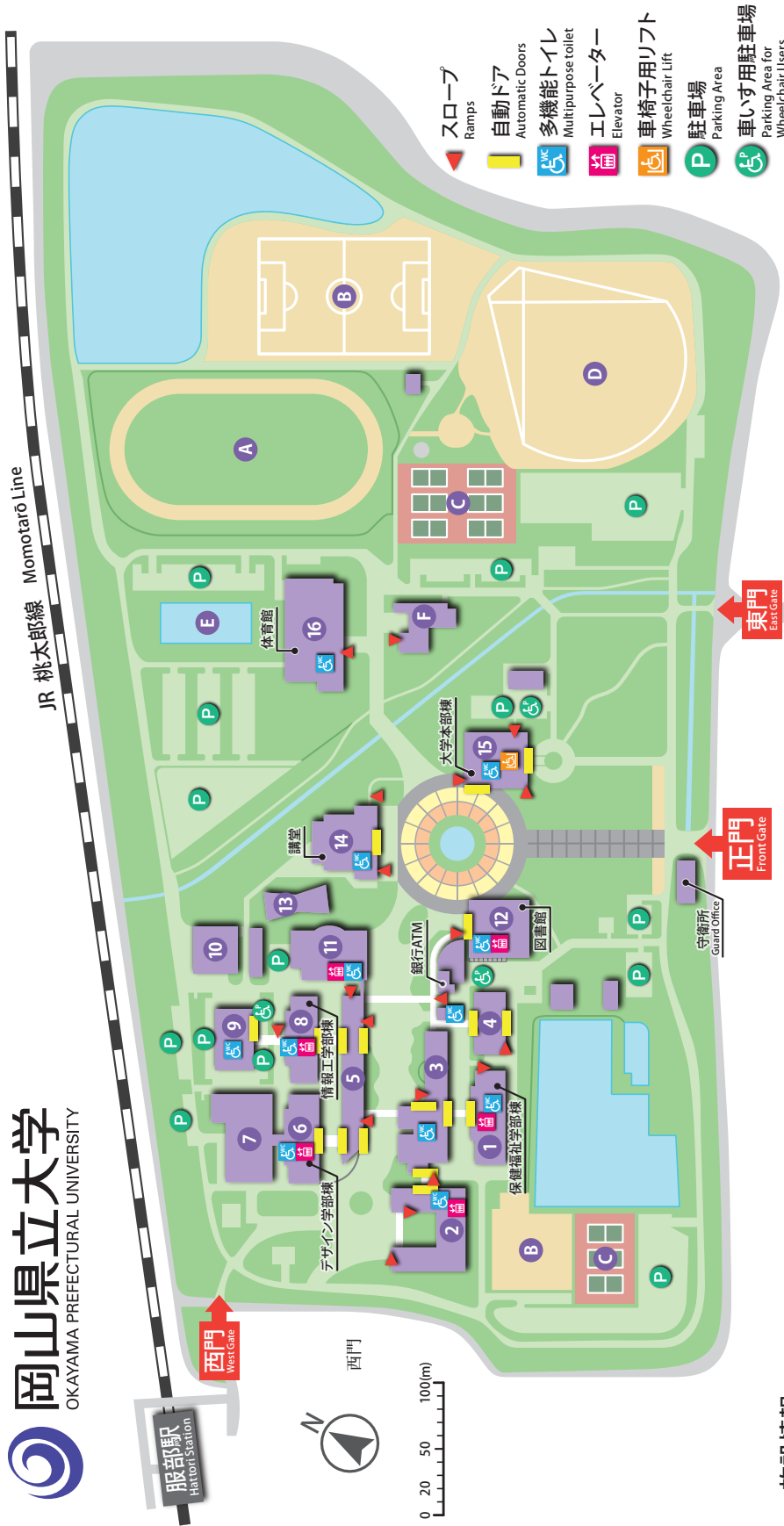
校舎・講堂・体育施設敷地 129,190 m²
 屋外運動場敷地 85,929 m²
 その他（緑地・調整池等） 87,090 m²

主な建物

※ RC = 鉄筋コンクリート造 SRC = 鉄骨鉄筋コンクリート造 S = 鉄骨造 W = 木造

区分	構造	延床面積 (m ²)	施設的主要内容
講堂	RC-4F	2,392.36	・650席 ・同時通訳施設, 練習室, 控室, 映写室等
本部棟	RC-2F	2,233.16	・学長室, 局長室, 事務局, 保健室, 会議室, 就職資料室等
保健福祉学部棟	SRC-6F	7,220.93	・講義室, 演習室, 実習室, 実験室, 研究室等
情報工学部棟	SRC-6F	7,181.67	・コンピュータ室, 工作室, 演習室, 実験室, 研究室等
情報工学部教育研究棟	S-1F	847.43	・演習室, 研究室等
デザイン学部棟	SRC-6F	6,811.64	・講義室, ゼミ室, 実習室, スタジオ, 製図室, 印刷室, デッサン室, 研究室, 展示ホール等
アトリエ棟	RC-2F	2,750.27	・工房, 実習室, 実験室等
学部共通棟 (北)	RC-2F	2,345.84	・講義室, COC+推進室, 産学官連携推進センター, 地域連携推進センター等
学部共通棟 (南)	RC-2F	3,538.05	・大講義室, 講義室, 演習室, 実習室, CALL教室, AV室, スタジオ, 事務局 (学部事務班) 等
学部共通棟 (東)	S-1F	693.55	・講義室
学部共通棟 (西)	RC-2F	3,814.45	・講義室, 演習室, 実習室, 視聴覚教室, ピアノ練習室, リズムダンス練習室, 研究室, 学生相談室等
附属図書館	RC-2F	2,607.72	・蔵書22万冊収納可 ・開架閲覧室, 個人閲覧室, 集密書架等
学生会館	RC-3F	2,991.79	・食堂, 喫茶, コンビニ, ラウンジ, 茶室, 学生支援室 (SAS) 等
陸上競技場	—	20,600	・400mトラック
グラウンド	—	17,918	・2面
野球場	—	18,302	・1面
テニスコート	—	6,638	・硬式6面, 軟式3面
体育館	RC-2F	3,032.88	・アリーナ, トレーニング室, 格技場, ロッカー室等
プール	RC-1F	237.06	・プール本体: SUS (1,861.50m ²) ・50m×8コース
部室棟	RC-2F	767.11	・部室等
エネルギーセンター	RC-2F	1,037.53	
動物実験棟	RC-1F	137.93	
国際交流センター	W-2F	168.87	・国際交流センター, 同窓会事務局

○建物配置図



- スロープ Ramps
- 自動ドア Automatic Doors
- 多機能トイレ Multipurpose toilet
- エレベーター Elevator
- 車椅子用リフト Wheelchair Lift
- 駐車場 Parking Area
- 車いす用駐車場 Parking Area for Wheelchair Users

- 施設情報** Facility Information
- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|--|---|--|-----------------------------------|---|---|--|--|--------------------------------|--|---------------------|---|---------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|-------------------------------|
| 1 保健福祉学部棟
Faculty of Health and Welfare Science | 2 学部共通棟(西)
Common Lecture Building [West]
講義室 視聴覚室 ビデオ練習室 リズムダンス練習室等 | 3 学部共通棟(南)
Common Lecture Building [South]
大講義室 語学教育推進室 AV室 スタジオ 学部事務班等 | 4 学部共通棟(東)
Common Lecture Building [East] | 5 学部共通棟(北)
Common Lecture Building [North] | 6 デザイン学部棟
Faculty of Design 事務室(4F) | 7 アトリエ棟
Arts and Craft Studios | 8 情報工学学部棟
Faculty of Computer Science and System Engineering 事務室(1F) | 9 情報工学部 教育・研究棟
Education and Research Building | 10 エネルギーセンター
Utilities Control Center | 11 学生会館
Student Union, Cafeteria, Shop
食堂 喫茶 コンビニ 学生支援室(SAS) 茶室等 | 12 附属図書館
University Library | 13 国際交流センター
International Exchange Center | 14 講堂
Auditorium | 15 大学本部棟
Administration Office
学長室 事務局 保健室等 | 16 体育館
Gymnasium | A 陸上競技場
Athletic Field | B グラウンド
Sports Ground | C テニスコート
Tennis Court | D 野球場
Baseball Ground | E プール
Swimming Pool | F 部室棟
Student's Club House |
|--|--|---|--|---|--|-----------------------------------|---|---|--|--|--------------------------------|--|---------------------|---|---------------------|---------------------------|--------------------------|--------------------------|--------------------------|------------------------|-------------------------------|

